

優秀賞

大きく発展した未来の和歌山

和歌山市立松江小学校 六年

松本 吏広

大阪・関西万博に行った僕は、これから和歌山の産業は発展を遂げ、県民の暮らしが豊かになり、誰もが明るく過ごすことができる素晴らしい場所になると考えました。なぜそう考えるか、理由は二つあります。

一つ目の理由は、テックワールドで使われていた技術を、観光業に活かすことができると思ったからです。テックワールドでは、生命、未来、自然の三つをテーマに、最先端技術が使われた映像を見ることができました。また、見終わった際には、手につけていた機械から心拍数を読み取り、生命の映像を見たとき一番感動していたなどの、満足度を読み取ることができました。和歌山には、那智の滝や高野山などの観光名所があるので、この満足度を読み取れる技術を使えば、観光客の方がより満足できる観光名所を紹介することができるよう、観光業がより盛んになります。

二つ目の理由は、ドイツパビリオンで学ぶことができた循環型経済を、和歌山の農業にも活かすことができると思ったからです。ドイツパビリオンでは、ゴミもリサイクルすることでエネルギーになることや、リサイクルに向いている素材があること、環境への負荷が低減することなど、循環型経済について色々なことを学びました。和歌山は黒潮の影響で温暖な気候に恵まれており、ミカン栽培を筆頭とした農業が盛んです。そのため、このような循環型経済の利点を和歌山の農業に活かすことができるれば、和歌山の農業は今よりさらに発展すると考えられます。

このように、恵まれた環境や、大阪・関西万博で得た技術や知識を和歌山の産業に活かし、大きく発展を遂げることで、僕

達の暮らしには笑顔があふれ、和歌山は、誰もが明るく過ごせる素晴らしい場所になっていることでしょう。